

取扱補足説明書

DAYTONA

R74374 ①/⑥

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*取扱説明書（イタリア語表記）と本書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ず取扱説明書（イタリア語表記）と本書も併せてお渡しください。

TREKKERシリーズ TRK33N/B TRK35N/B TRK46N/B		適応車種	商品NO.
	モノキーベース用トップ・パニア		別記

■本書はイタリア語の取扱説明書を補足するものです■

※ この商品の使用をもって本書記載の内容全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ず内容をご確認ください。本書記載の内容を守らずに取り付け・取り扱いしたことにより発生した不具合や事故損害は、如何なる場合でも保証対象外であり、当社およびGIVI社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※ 商品保証につきましては保証書記載の保証規定に沿って行ないます。また、この商品の使用をもって保証規定全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ず内容をご確認のうえ、説明書・レシートと共に大切に保管してください。保証書やレシートを紛失した場合や保証書販売店記入欄に店舗記載・捺印のない場合、新品購入履歴が不明な場合などは当社所定の商品保証を受けられません。あらかじめご了承ください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

	要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
	要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> この商品は指定懸架ステーに所定の状態で取り付けられた GIVI モノキーベース（接点なし）（別売り）専用品です。接点付き（後付け含む）の GIVI モノキーベースや、モノロックケース付属の汎用ベース、M5M、M6M などの GIVI モノロックベースには取り付けできません。また、GIVI 社指定以外のベースプレート、懸架ステーには使用しないでください（保証対象外）。 指定最大積載重量（ケースに収容可能な内容物の MAX 総重量）は 10kg です。ケースやフィッティングの指定を超える総重量となる内容物をケースに収納することは絶対にお止めください。当社では、操舵性を考慮して総重量 3kg 以下での走行使用をオススメします。 ケース脱着が困難な場合、ケース取り外しボタンやベースプレート勘合部に不用意に無理な力を加えないでください。変形や破損など予期せぬ不具合（保障対象外）が発生する場合があります。 この商品をつかんでのメインスタンド掛けや車体の取り回しはお止めください。変形や破損など予期せぬ不具合（保障対象外）の原因となります。 法定速度を必ず遵守することを前提に、いかなる場合でも 100km/h を超える状態での走行使用は行わないでください。操舵性の変化などにより、破損や脱落など予期せぬ不具合や事故損害（何れも保証対象外）の原因となります。 オフロードなど悪路での走行使用は行なわないでください。破損や脱落など予期せぬ不具合や事故損害（何れも保証対象外）の原因となります。
---	---


注意

 <p>実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> パッケージ開梱時やその後の商品取り扱い時に、パッケージや商品端面で指を切るなど予期せぬ怪我や事故、内容物の破損など（何れも保証対象外）が発生する場合があります。十分ご注意ください。 この商品をパッケージから取り出した際に、商品構成や外観に不備がないことを必ずご確認ください。未使用品以外の外観不良は保証対象外につき、万一お気付きの点がございましたら、ご使用になる前のこの段階でお買い求めの販売店に速やかにご相談ください。 この商品の構成部品は金属や樹脂を素材としております。経年変化や使用損耗により素材劣化が生じ、予期せぬ不具合（保証対象外）が発生する場合があります。必ず定期的に点検整備を行なってください。定期的な点検整備や日々のメンテナンスを怠り発生した不具合や事故損害、および経年変化や使用損耗により発生した不具合や事故損害につきましては、如何なる場合でも当社およびGIMI社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。 この商品を組み付けるGIMIモノキーベースに接点が組み付けられている場合は、ベースから接点を必ず取り除いてからご使用ください。接点付き（後付け含む）のベースに商品を取り付けると、ケースとベースプレート後側のアタッチメントとの所定の勘合が得られず、部品破損や脱落など予期せぬ不具合や事故損害（何れも保証対象外）などの原因となります。 ケース脱着作業は安定した平らな場所で、作業中の車体の安定と周囲の安全を十分確保したうえで確実に行なってください。作業が適切に行なわれないと、作業中やご使用中に部品破損や脱落など予期せぬ不具合が発生する場合があります。商品自体に瑕疵がなく発生した不具合や事故損害につきましては、如何なる場合でも当社およびGIMI社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。 ケースの蓋を開ける際は、所定の制御範囲を超えて、ヒンジ部に無理な力が掛かるまで最大開口させないでください。変形や破損など予期せぬ不具合（保障対象外）の原因となります。 ケースの蓋を閉める際やロックして走行使用の際は、荷物が蓋に挟まれていないことを必ず確認してください。変形や破損など予期せぬ不具合（保障対象外）の原因となります。 この商品を車体に取り付け走行使用すると、車両の重量増加や重心変化、空気抵抗増加などにより、ハンドリングやブレーキ性能などが悪化します。操舵感覚や制動感覚に慣れるまでは十分慣らし運転を行なってください。このような変化はタイヤの磨耗や空気圧の低下、ステムやホイール、スイングアームのベアリング類の磨耗などによっても発生します。定期的に各部を点検整備し、安全に走行使用してください。 走行中に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
 <p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> この商品は指定懸架ステーに所定の状態で取り付けられたGIMIモノキーベース（接点なし）（別売り）専用品です。指定されたGIMI社の適応商品以外との組み合わせは未確認（保証対象外）につき、如何なる不具合や事故損害が発生したとしても、当社およびGIMI社では一切の責任を負いません。 素材と製造方法、製品個体差により、仕上がり品質はお手元の商品程度となります。表面の傷や歪み、塗装の仕上がりや色合い、蓋の勘合具合、ベースプレートへの組付フィット感など、程度の差につきましてはあらかじめご了承ください。 ご使用環境やご使用状況によってはケース内部が高温になる場合があります。 この商品は防滴性を考慮した設計ですが、完全防水ではありません。ケース内容物の防水・破損対策はお客様の自己責任で行っていただく必要があります（保証対象外）。予めご了承ください。 ケース自体は施錠できますが、盗難を完全に防止することはできません。車両を離れる際はケース内に貴重品を入れたままにしない、ケースを取り外して持ち歩くなどの自己防衛が必要です。 商品保証につきましては保証書記載の保証規定に沿って行ないます。また、この商品の使用をもって保証規定全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ず内容をご理解のうえ、説明書・レシートと共に保証書を大切に保管してください。保証書やレシートを紛失した場合や保証書販売店記入欄に店舗記載・捺印のない場合、新品購入履歴が不明な場合などは当社所定の商品保証を受けられません。あらかじめご了承ください。 この商品は予告無しに価格や仕様を変更する場合があります。また、文中にて紹介した他の商品についても同様です。あらかじめご了承ください。

特徴

- アルミパーツを使用し、頑強で精悍なデザイン。
- 2種類の開口タイプを設定でき、トップケースとしてだけでなく、サイドケースとしても使用可能。

商品内容

	パーツ名	数量	NO	パーツ名	数量
①	ケース	1	②	キー	2

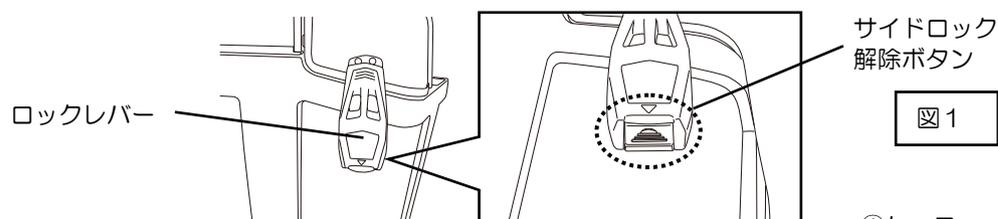
商品ラインアップ

商品名	品番	商品名	品番
TRK33N	74374	TRK35N	18934
TRK33B	92794	TRK35B	18935
TRK46N	74375	TRK35PACK2	18951
TRK46B	92795	TRK35BPACK2	18953

使用方法

1. ①ケースを開く

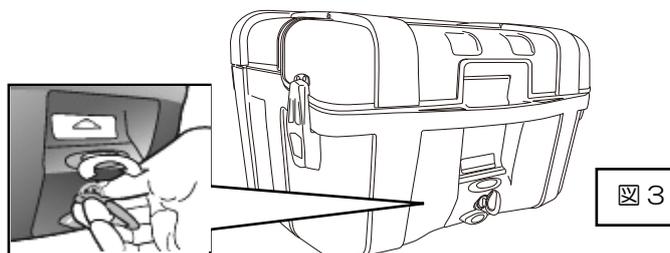
1-1. 上フタの外側左右に設けられたロックレバーを操作し、上フタのサイドロック（左右）を解除します。（図1参照）



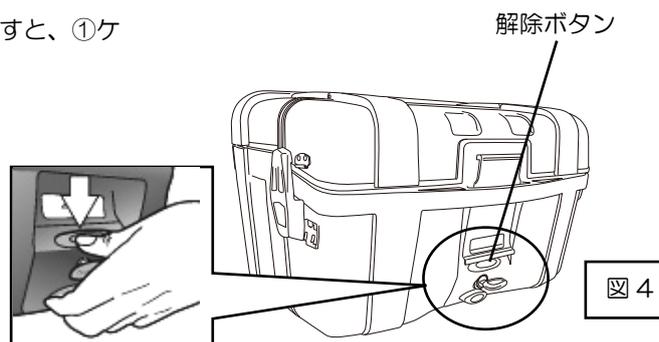
1-2. ①ケースのキーシリンダーに②キーを差し込みます。（図2参照）



1-3. ②キーを右（時計方向）に回し、3時方向の位置に合わせます。（図3参照）



1-4. キーシリンダー上部にある解除ボタン（楕円型）を押すと、①ケースのロックが解除されます。（図4参照）



1-5. 「PRESS」と書かれたフラップが浮き、①ケースのフタのロックが解除されます。フラップに引っ掛からないよう注意しながら、フタを持ち上げます。(図5参照)

- ※ TRK33/46はケース内部にある④ロックピンの位置を変更することで、フタの開口方法を選択することができます。
- ※ 予期せぬ部品破損を防ぐため、④ロックピンはA(部分開口)、B(全面開口)いずれかのポジションで確実にロックした状態でご使用ください。

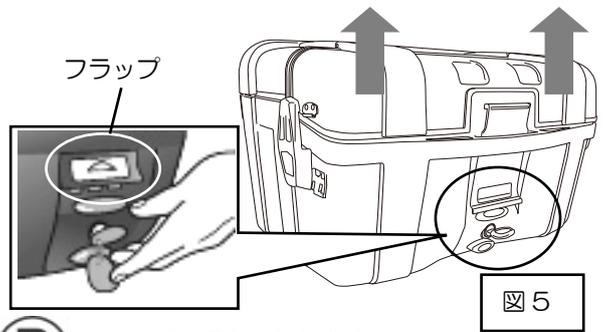
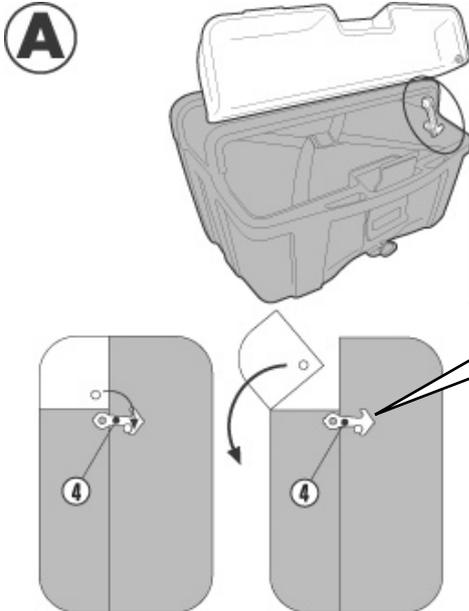


図5



パニアケースとして使用する場合



トップケースとして使用する場合

△注意
走行中の振動等でロックが外れるのを防ぐため、ロックの操作は固くなっています。

2. ①ケースを閉じる

2-1. ①ケースのシリンダーに②キーを差し込み、右(3時方向)に回した状態でフタを閉じます。(図6参照)

⚠警告

- フタが完全に閉まっていない状態で使用すると、走行中の振動などによりフタが開く可能性があり非常に危険です。

△注意

- ①ケースのフタに物を挟んだ状態で無理に閉めないでください。ケースロック等の破損により、①ケースのフタが閉められなくなる場合があります。

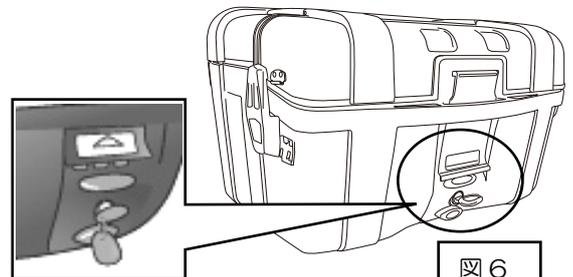


図6

2-2. フラップの「PRESS」と書かれた三角マークの上側(☆印)付近を押さえながら、下側に下ろす感じを意識してフタをロックします。(図7参照)

△注意

- 図6のフラップ断面図を参照し、必ずフラップ上端のツメを①ケースの溝に掛け、しっかりとロックしてください。

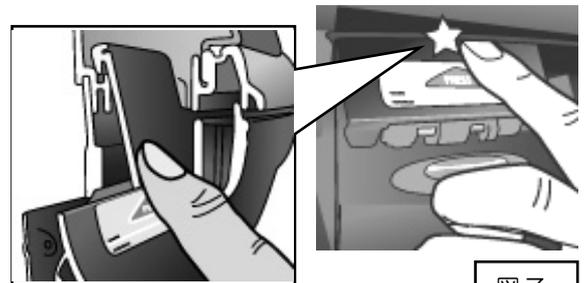


図7

2-3. ②キーを左(12時方向)に回してボタン類の施錠をします。この状態で②キーを抜くことができ、全てのボタン(サイドロックを除く)がロックされ、フタの開閉はできなくなります。

△注意

- ②キーが回らない場合は、①ケースのフタがしっかりとロックされているかの確認をしてください。

2-4. 上フタの外側左右に設けられたロックレバーを操作し、上フタのサイドロック(左右)をロックします。

2-5. 全てのボタンがロックされ、フタが開かないこと、フラップが半ロックでないことを十分確認した後、②キーを抜きます。

■フラップの半ロック状態

キーシリンダー上の解除ボタン（楕円型）を押してもロックが解除できない（フラップが開かない）場合は、ボタンが奥に引っ込んだ状態（フラップ半ロック状態）になっています。その場合は、下記の手順で解除してください。



正常ロック状態



半ロック状態

ボタンが奥に引っ込んだままになっている。

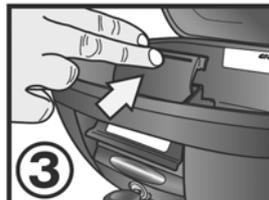
■フラップのロック状態の確認方法



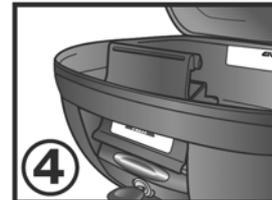
①フラップ半ロック状態ではフタはロックされておりません。抵抗がありあすが強めに引っ張ってフタを開けてください。



②フタを外すとロック部のフラップが出てきます。



③そのフラップ部を奥に倒してください。



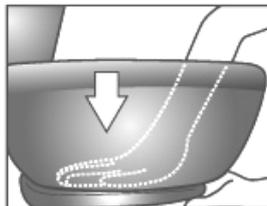
④フラップが定位置に戻り、フラップ半ロック状態が解除できます。

■より確実なベースへの取り付け方法（固定しにくい場合など）

上フタを開けた状態でケースをベースに合わせ、左手でベースを持ち上げぎみにしながら、右手でケースの底部を上から押さえロックします。

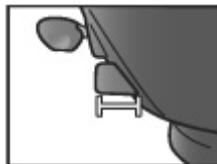
△注意

特に小型車などにつきましては、リヤサスペンションが軟らかく、上から押さえただけでは確実にロックがしにくい場合がありますので、必ずこの方法で取り付けてください。

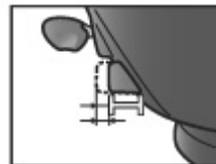


■ベースへのロック状態の確認方法

ケースをベースにロックした後、必ずケースを上側に引っ張ってロック状態を確認してください。確認方法としては、キーシリンダー下側のケース取り外しボタンを押さえ、そのとき図のようにボタンの位置が、正常時より約6mm奥に引っ込んだ状態（ベース半ロック状態）になっている場合は、正常にケースがベースにロックされていません。これを解除するにはケース取り外しボタンを今一度強く押し、ケースをベースから取り外して、再度確実に取り付けを行ってください。



正常ロック状態



半ロック状態

△使用上の注意

1. 原付車両ならびに車種専用のステーを使用していない車両には取り付けしないでください。また、キャリア本体の積載制限以上は積載しないでください。車体の破損・運転操作に悪影響がでます。
2. ハードケースは、確実に取り付け、走行前には必ずケースを持ち上げ外れないことを確認してから走行してください。
3. 貴重品や振動、耐熱性に劣るものは中に入れないでください。内容物の取り扱いには自己責任でお願いします。当社ではいかなる場合でも内容物に関しての補償はいたしません。

東証JASDAQ上場 株式会社 **デイトナ** 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805

本書の記載内容の一部または全部を無断転載することを禁ず。

デイトナ商品についてのご質問、ご意見は、0120-60-4955 まで。

URL 総合 <http://www.daytona.co.jp>

G | V | 専用 <http://www.givi-jp.com>

■ 保証書 ■ Warranty Card ■

この度は当社商品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この商品は当社の厳密な検査を経て出荷されておりますが、万が一通常のご使用において材料または製造上の不都合に起因する故障等が起きた場合、これを無償修理させていただきます。(以下これを保証修理といいます。) 保証修理を依頼される場合は、下記の「お客様記入欄」のすべての項目を必ず記入していただいてからお買い上げいただいた販売店へこの保証書および商品をご持参いただくか、デイトナに直接ご連絡下さい。その時、使用状況等を記入した別の用紙(形式は問いません)を添えていただくようお願い致します。

お客様記入欄

■ご購入年月： 年 月 日	■保証書記入年月日： 年 月 日	■商品番号：	■商品名：
■お名前(ふりがな)	■TEL： - -	■ご住所：〒	
■使用車種：	■年式(年モデル)	■フレームNO.:	■使用期間(約 日間)

販売店記入欄

■店名：	■住所：
■TEL：	

※ご記入がない場合は、購入日を証明できるものを必ず添付して下さい。

◎お願い：お買い上げいただいた際に販売店の方に「販売店記入欄」をいただくか、使用期間、購入日を証明できるものを必ず添付してください。提示されていない場合は保証修理いたしかねます。

■ 保証規定 ■

1：保証期間：保証修理の期間は、お買い上げいただいた日から一年間とします。

2：お客様にお守りいただく事項：当社の商品を安全快適にご使用いただくためには、お客様の正しい使用と点検、整備が必要です。次のことを必ずお守り下さい。守られていない場合は、保証修理をお断りすることがありますのであらかじめご了承ください。

- (1) 車両本体メーカー発行のサービスマニュアルに示された取扱い方法及び当社の取扱説明書に示す取付け、取扱いの方法に従って使用すること。
- (2) 運行前点検及び保守 整備を実施すること。
- (3) 定期交換部品、及び油脂類を指定どおり交換すること。

3：保証できない事項：

- (1) 次に示す事項は保証修理いたしません。
 - ① 経時変化あるいは使用消耗による不具合。
 - ② 一般に品質、機能上影響のない軽微な感覚的現象。(音、振動、オイルのにじみ等)
 - ③ 地震、台風、水害などの天災、事故及び火災に起因する不具合。
 - ④ 煤煙、薬品、鳥糞、塩害等に起因する不具合。
 - ⑤ 法令に違反する改造及び当社が認めていない改造。(適合車種以外への取付等)
 - ⑥ 通常の注意で発見処置できたにも関わらず、放置したことにより拡大した不具合。
 - ⑦ 前記2「お客様にお守りいただく事項」を守らなかったこと起因する不具合。
- (2) 次に示す費用は負担いたしません。
 - ① 発生した不具合によって破損した本品以外の部品代金修理工賃、整備等の費用
 - ② 商品を検査のためにお預かりする際に発生する脱着工具等。
 - ③ お車を使用できなかった事による不向き及び損失等。(電話代、レンタカー代、運送代、機会損失等。)
 - ④ この保証書に示す以外の費用、保証等。

4：保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、当社商品とこの保証書をお買い上げの販売店にお持ち頂き、当社へ修理依頼をして頂きますようお願いいたします。本書を提示されない場合又はご連絡をいただいていない場合は、保証修理いたしかねます。

5：保証の発効

この保証書は、お買い上げの販売店様が本保証書の販売店記入欄に必要事項を記入、捺印する事により有効となります。

◎この保証書は、本書に明示した期間と条件のもとに無償修理をお約束するものです。したがって保証期間経過後に発生した不具合の修理は原則として有償です。ただし保証期間経過後の不具合が使用消耗あるいは経年変化によるものではなく、その全部または一部が当社の責任に起因する場合は、その責任の度合に応じた適正な範囲で修理いたします。

株式会社 デイトナ
静岡県周智郡森町一宮 4805
0120-60-4955

